

## 資料6

山梨市教育委員会  
給食センター

## 山梨市の学校給食における食物アレルギー対応について

### 1. 対応原則

- ①食物アレルギーを有する児童生徒の給食の対応は、安全性を最優先とします。
- ②食物アレルギー対応は給食センターと学校が連携を取り、組織的に行います。
- ③医師の診断による「学校生活管理指導表」の提出を必須とします。
- ④安全性確保のため、給食センターから提供する除去食は、原因食物の完全除去対応（提供するかしないか）を原則とし、多段階対応（完全除去・10gまで可能・生は不可だが加熱すれば可能といった様々な段階の対応のこと。）は行いません。
- ⑤給食センターの施設設備、人員等を考慮し、過度に複雑な対応は行いません。

### 2. 対応方法

#### ①詳細な献立表対応

給食の原材料を詳細に記した献立表を事前に配布し、それをもとに保護者の指示または児童生徒自身の判断で、給食から原因食品を除いて食べるか、すべて食べないか、一部家庭から代替食を持参する対応になります。

#### ②一部家庭からの代替食持参対応（家庭から一部弁当を持参する。学校は弁当を常温で保管する。）

除去食対応において、対応食品を除去すると献立として成立しない場合（例：エビフライや缶詰フルーツのヨーグルト和え等）は、その献立に対してのみ部分的に弁当（おかずやデザート）を持参します。

#### ③完全弁当対応（家庭から完全弁当を持参する。学校は弁当を常温で保管する。）

アレルゲンが多食品にわたる、アレルゲンの※コンタミネーション（食品の製造段階）でも反応が出る、教室での喫食が困難な場合は、家庭から完全弁当を持参する。

※コンタミネーションとは食品の製造段階で食品を生産する際に原材料として使用していないにもかかわらず、アレルギー物質が微量混入してしまうこと。

#### ④除去食対応

原因食品を給食から除いた除去食を、学校給食センターから提供します。

#### ⑤牛乳の停止（飲用牛乳を停止する。）

#### ⑥牛乳のみ提供（飲用牛乳のみ提供する。）

### 3. 除去食対応食品

【卵・えび・かに・いか・乳】の5つの食品に対応します。5つの食品以外に山梨市内の有症者数を考慮し「パイン缶等」「白桃缶等」「黄桃缶等」「りんご缶等」は申請が認められれば除去食対応できます。

除去食対応食品は、食品表示法で定められた特定原材料7品目と特定原材料に準ずる21品目の中で、山梨市内の有症者数や、給食センターの施設設備及び人員体制などを考慮し決定しました。

※アレルギー症状が重篤になりやすい落花生（ピーナッツ）、くるみ、そばは、学校給食センターでは使用しません。

#### 4. 除去食の考え方（原則）

給食センターには、アレルギー対応食専用室があります。アレルギー対応の食材の受け取りから計量・調理・配食までを、担当の栄養士や調理員が全体の料理とは別に対応します。

専用室には冷蔵庫や消毒保管庫、IHコンロやオーブンなどの設備や備品が備わっていて、アレルギー食品を除いた材料で調理します。卵なしのハンバーグなども調理することができます。

しかし、専用室には、5品目と4食品の除去食対応食品を絶対に置きません。それは専用室内での混入ミスを起こさないためです。そのため、例えば「エビチャーハン」が給食に出た場合、専用室では「えび」と「卵」の両方を除去します。全体の安全性の向上のために必要な事ですので、是非ご理解ください

#### 5. 家庭での確認・お弁当の持参方法・残菜について

- ・毎月給食センターから「食物アレルギー対応表」が届きますので、対応が必要な日は必ず確認して下さい。
- ・児童生徒がお弁当を持参した場合、保管する専用の冷蔵庫や温める調理器具などはありません。学校での冷蔵や温めはできません。常温に適した状態で持参していただきます。保管場所は、高温多湿にならない職員の目の届く場所になります。入れ物には間違いを防ぐため、良く見える所に氏名を書いてください。又、忘れると食べるものが無くなってしまうのでご注意ください。
- ・家庭でも給食センターでも喫食状況を確認するため、家庭から持参したお弁当や給食センターから届いた除去食を残した場合、そのままの容器で返却してください。



#### 6. 除去食の提供容器



【容器A】おもに主菜や副菜用  
冷たい料理の時は内蓋と外蓋 の間に保冷剤が入ります。

【容器B】おもに主食や汁物用  
保温効果が高く、汁もれしにくい構造です。

#### 7. 除去食の専用食器への移し替え

原則として、アレルギー対応の食事は、給食用の皿などへの移し替えは禁止です。一般食との区別が付きにくくなってしまうためです。

しかし、どんぶりメニューやカレーなどの献立の日は、除去食の提供容器では食べにくいので、給食センターから専用食器をお届けします。その時は移し替えて食べても良いという合図です。



このように、除去食と一緒に黄色い専用食器がついてきた時が、移し替えて食べて良い日です。

